



静岡 DWAT 出前講座報告 牧之原市避難体験教室「さ～！ぼうさい体験会」

- 日程：令和4年11月19日（土）15：00～18：00
- 会場：相良原子力防災センター「サーボ」
- 参加登録員：（福）富水会 第2開寿園 星野 慎二 氏
（福）三愛会 特別養護老人ホーム愛華の郷 阿井 孝訓 氏
- 参加者：障害当事者とその家族、支援者、行政職員等 約40名

「避難所設営・防災講座」のプログラムを担当し、体験を中心とした約1時間の講座を実施しました。

① 避難所での受付

一組のご家族に受付を体験していただくなかで、障害のある方がご自身で受付名簿に記入することや、質問に答えることが難しく、また時間もかかってしまうことが分かりました。また、民生委員の方に受付係を担当いただくことで自主運営を意識していただくことや、実際の市の様式を用いることで改善のための意見交換にもつながりました。

② 避難スペースの設営

市で整備している段ボールベッドやエアマット、仮設トイレ、パーテーションをみんなで設営し、使い心地を確かめました。

③ アセスメント

適切な支援を届けるために、ご本人の心身の状況を福祉施設職員やご家族の皆さんに市の様式を使ってチェックしていただき、避難所で情報を集約していくことを体験してもらいました。また、外部支援者による巡回を想定したDWATによる聞き取りも実施することで、静岡DWATのことを知っていただく機会にもなったのではないかと思います。必要な情報がどうすればしっかりと伝わるか、悩まれている様子も見られました。

④ 講義

静岡DWATの概要を説明するとともに、過去の災害において障害のある方が避難所で直面した課題を取り上げ、自助や共助でどのように工夫できるか考えるきっかけづくりとしてのお話をさせていただきました。

その他、担当外のプログラムも参加し、参加された方々が何を不安に感じ、どのように備えているか、たくさんお話を聞かせていただきました。

